

2015年6月29日

沖縄県議会 議長
喜納 昌春 殿

沖縄県国頭郡東村高江 85-2
ヘリパッドいらない住民の会
石原理絵 安次嶺雪音
基地県内移設に反対する県民会議
共同代表 高里鈴代 仲村司
安次富浩 山城博治
高江ヘリパッド建設反対現地行動連絡会
共同代表 間島孝彦 仲村渠政彦

北部訓練場のヘリ/オスプレイパッド建設に反対し、
やんばる上空のオスプレイ飛行禁止を求める高江住民の陳情

[陳情に至った経緯]

北部訓練場に日米両政府が建設予定の6つのオスプレイパッドのうち2つが完成し、本年2月に米軍に提供されました。すでに、やんばるの森の上空、高江集落の上空でオスプレイが激しい旋回訓練を繰り返しています。

やんばるの森を国立公園にしようが、世界遺産にして保護しようが、上空からの騒音や低周波音と高温の排気で、森の生き物も人間も壊滅的な被害をうけます。高江区では住宅地だろうと、学校だろうと、売店だろうとお構いなしに、我が物顔で低空飛行しています。心臓が痛くなるような圧迫感と振動とともに団地1階にある台所の窓の高さからオスプレイが飛んでいるのが見えます。このような日常の異常さは受け入れがたいものです。

については、下記事項につき早急に県政としての対応を求めます。

記

- 1、県はオスプレイ配備に反対の立場を明確にしています。北部訓練場のオスプレイパッド工事にも県として反対を表明し、日米両政府に対して工事の中止を要求して下さい。
- 2、県はオスプレイ配備反対かつ新基地建設反対の立場です。高江区の住宅にあまりに近く県道の真横に接して完成したN4地区(LZ-17)の先行使用は停止するよう日米両政府に

求めて下さい。東村議会も N4 使用禁止決議をあげています。県民の負担軽減との言い方が繰り返されていますが、高江住民も沖縄県民です。本当の負担軽減は北部訓練場の無条件返還のはずです。

3、県はオスプレイの配備反対の立場であり、やんばるの森を世界遺産にも登録すべき唯一無比の自然環境であると認識されているのならば、やんばるの森および周辺の集落上空のオスプレイの飛行禁止を日米両政府に求めてください。

4、県がオスプレイ配備反対、かつ、やんばるの森林を保護すべきとの認識があるのであれば、普天間飛行場など県内の米軍飛行施設と同様に、北部訓練場でもヘリ/オスプレイの飛行状況を把握すべく、県で飛行実態を調査し記録を作成してください。

5、本年第1回沖縄県議会・米軍基地関係特別委員会（2月定例会、2015年3月25日）で、沖縄県は高江ヘリパッド問題に関して「今後、地元の意見も伺いつつ、検討してまいります」と回答されていました。翁長新県政として、早急に現地の視察を行い、高江住民の意見を聴取して下さい。

6、現在オスプレイパッド工事が強行的に進められ、住民が抗議の座り込みをしている N1 地区では、県道70号線の路側帯の一部を米軍占有にする手続きがなされようとしています（2015/6/26 沖縄タイムス報道）。沖縄県が管理する県道の路側帯を、日米の都合で勝手に米軍に提供することに反対抗議し、県道と県民を守ってください。